

第107回運営委員会概要 10月14日(金) 18:30~21:10

- ◆会場：柏崎原子力広報センター 2F研修室
 - ◆出席運営委員：新野・佐藤・川口・徳永・前田・・・5名
 - ◆出席委員：浅賀・佐藤(幸)・・・2名
 - ◆オブザーバー：保安院／飯野所長・熊谷検査官 エネ庁／磯部所長
東電／長野副所長・佐野課長・椎貝・山本
 - ◆事務局：広報センター／井口業務執行理事 石黒主事
-

視点51号(第99回定例会分)内容について

- ・原稿を委員で確認
- ・事務局案を更に校正して校了

次回以降定例会等(11月、12月、1月、2月情報共有会議、11月25日の意見交換会)の内容について

〈議長〉毎年行っている情報共有会議が今年度も2月に開催予定となっている。事務局より2月1日(水)午後6時~産業文化会館の予定でオブザーバーなど調整をはじめている。

また11月25日(金)に委員のみで意見交換会を予定している。以前委員同士の意見交換会を行ったときには司会を委員にお願いして、委員同士がかしこまらず自由な意見交換となった。

前回定例会後、委員から『最近の定例会では2分、3分と時間を区切った委員発言が続いている。発言は広がるが意見が深まらない』と意見が寄せられている。このことに関して今後どのように考えていくか。

〈委員〉委員同士のコンセンサスを得るためには土曜、日曜に時間を割いてじっくりと議論を行わなければ皆が納得できるような意見の集約や整理ができないのではないか。

また、定例会では課題を2つ、3つに絞って議論をする形にしないと良い議論ができないのではないか。例えば「防災」とすると幅が広い。防災のあり方なら『現在と比較してどうか』というふうに論点を絞る。またEPZだけということでもよいと思うが、現在のように課題が多すぎる状態では課題を絞らないと議論が深まらないのではないか。

〈議長〉3月の地震以降、定例会の趣旨として、福島原発の収束も見えず、いろいろな検証や事実が見えてこない中での会議ということで議論が深められなかったこともある。2分、3分の委員発言を繰り返しながら一般市民の気持ちを発表してきた。検証の結果を待ちながら7ヶ月が経過してもはっきりしないということで、10月から進行の方向を防災に絞り、裾野を広げた意見を委員から発言してもらい、その中から運営委員会でテーマを見つけ、今後議論をしていこうという流れであった。

委員全体にはそこまで伝わっていなかったのだと思うが、6月、7月頃に実態

がわからない中で、真実でないかもしれないことについて先走った議論をしてもそこだけが心象に残り、そのあと事実が出てきた時にどうなるのか。果たしてそのときの議論が良い議論になり得るのかどうか。

そのような経緯も理解していただいて、いろいろな団体から参加している25名の委員の構成であること。地域の会が全市民の目線としてあること。会の役割は何であるかを十分に理解していただきながら時間の使い方を協議していくことが必要ではないかということから、11月の意見交換会を設けた。その中で委員同士のコンセンサスが得られるような話し合いに期待したい。

〈委員〉委員から提出された意見が共通している。オブザーバーなしで1回でも2回でも議論してみても、ということだと思う。福島事故からものすごく課題が多いこともある。意見交換会をきっかけとして委員同士の意見交換の時間をもっと増やしていくほうがよいのではないか。

〈委員〉これは、地域の会としての入り口の話ではないかと思う。この意見の主旨は、会としての姿勢、スタンスを示そうという方針転換に近い提案に思えるがどうか。

〈委員〉自分は必ずしもそうだとは思わない。2分や3分の短い時間では委員として思っていることが十分伝わらない。それでは委員としての参加意味がないという気持ちがあるのではないか。いろいろな立場から参加している委員の主張を十分に果たしたいという思いではないか。

反対派、推進派の様々な立場から参加している委員が、今までの活動の中で地域の会として「意見書」を国や関係機関に対して発信してきた。地域の会としての体質や方針を変えていこうというような主旨ではないと思う。

〈議長〉以前は研修旅行など、バスの中でも委員同士がそれぞれの立場で議論や話し合いを重ねる時間があり意見交換ができた。昨年頃からそのような機会が少なくなり委員同士が話を重ね、共通理解を得られる機会がなくなっていることが気になっている。

〈委員〉まだ地域の会の趣旨について詳しく理解できていない委員には、会議のたびに地域の会の趣旨については何度も話をしていくしかない。

〈委員〉福島事故の件から、どうしても意見を白黒はっきりさせようという感じになってきている気がする。地域の会は圧力団体ではないし委員同士がいがみ合う会でもない。

〈委員〉8年間今まで重ねてきた会議の変遷など、これまでの取組みについて会長が次回の定例会の中で話してはどうか。

〈議長〉反対派も推進派も同居する地域の会で、会議のたびに地域の会として結論を集約することはできない。重大なことが起きたときなど、委員の統一見解として、地域の会として集約できるときは、「意見書」として提出してきた。

11月25日の意見交換会は、意見の集約ができない会であり結論を求める会でないことが委員全体に理解してもらえるとよい。

(委員賛成)

〈議長〉次回11月定例会はどのような内容にするか。

〈委員〉前回定例会の委員意見発表から防災に関するキーワードがコメントされている。

それについて考えていくのがいいのではないか。

(委員賛成)

〈議長〉 私たちが少しずつ議論を始めればオブザーバーにとって住民の意見として参考にできることが出てくるかもしれない。

前回の委員意見から防災のことについてフリーで意見を出してもらうか、もう少し絞るか。

〈委員〉 委員意見では、EPZに関する意見が多かった。

〈委員〉 災害が起きたときの情報の発信、受信方法や、私たちの手元にスムーズにわかりやすく情報を届けてほしいといった情報伝達に関する意見もいくつかあった。EPZと災害初期の情報伝達、いわば初動体制を次回の議題としてはどうか。

(委員賛成)

〈議長〉 勉強会については、放射線のことでも良いし、防災のことでも良いと思う。この会は元々コミュニケーションの会なのでコミュニケーション論について勉強しても良い。

〈委員〉 放射線について、例えば被ばく量についてもいろいろな考え方がある。ぜひたくさん意見を聞いてみたい。

〈議長〉 1月または3月の予定で講師など考えていきたい。

(委員賛成)

【決定事項】

〈11月2日定例会・タイムスケジュール(案)〉

18:30～19:15	前回からの動き(東京電力、保安院、エネ庁、行政)
19:15～19:25	地域の会のこれまでの取り組みについて(新野会長)
19:25～21:00	EPZと災害初期の情報伝達についてディスカッション
21:00～21:15	その他(意見交換会についての説明など)

・3月ころ放射線についての勉強会を検討する。

今後の日程について

第101回定例会	11月2日(水)	18:30～	原子力広報センター2F
第108回運営委員会	11月15日(火)	18:30～	同上
意見交換会	11月25日(金)	18:30～	同上
第102回定例会	12月7日(水)	18:30～	同上
第109回運営委員会	12月14日(水)	18:30～	同上